

## 2021 年度第 1 回湘南ヘルスイノベーションパークの環境保全に関する連絡会議事録

## (1) 概要

議 題	湘南ヘルスイノベーションパークの環境保全等に関する鎌倉市近隣町内会代表との報告と協議
日 時	令和 3 年 (2021 年度) 8 月 1 日 (日) 午前 10 時～12 時
場 所	湘南ヘルスイノベーションパーク (以下湘南アイパーク) 会議室
出席者	鎌倉市：植木町内会 (2 名)、鎌倉ロジューマン (2 名)、鎌倉岡本ガーデンホームズ (2 名)、四季の杜自治会 (1 名)、ラシェール鎌倉岡本ハイライズ (1 名)、鎌倉グランマックス (2 名) 湘南アイパーク：武田薬品工業株式会社 (7 名)、三菱商事 UBS リアルティ株式会社 (1 名) 鎌倉市：環境保全課 (3 名)

## (2) 会議内容

環境保全に関するアイパークの説明に関しては、資料参照。以下、質疑の応答内容。

## 【環境保全に関して】

- ① 土壌調査において基準超過のあったふっ素測定については、サンプリングは敷地内のみ実施した。ふっ素の基準値を超過した地点が敷地内の 4 か所 (No. 1, 2, 7, 8) のみであり、地下水の水源由来ではなく、土壌由来であると考えている。また湘南工場時代は分析のために微量のふっ素化合物を使用していたが、地下水全体の汚染を説明できる量ではない。また今回のふっ素の基準値超過によって健康に影響が出るのは、この地下水を毎日 2L、70 年以上飲んだときというレベルで、現実的には考えられないため、問題ないと認識している。
- ② 第三者 (外部) 機関による環境測定の監査は行っておらず、今後検討予定。現在は、毎月の測定結果を藤沢市と鎌倉市に送付しているため、行政による確認は行われていると考えている。
- ③ 今後の管理運営体制については、土地建物の所有者である三井住友信託銀行、同行に指図権を有する三菱商事 UBS リアルティ、同行から運営委託を受けている武田薬品の三者で共同責任体制となっている。また窓口は湘南アイパークの運営委託を受けている武田薬品となる。何か問合せされたいときの連絡は、湘南アイパークのHPの問合せ (<https://www.shonan-health-innovation-park.com/contact-us/>) ページからお願いしたい。
- ④ 化学物質やウイルス流出等の事故が起きたときの連絡体制については、武田薬品は、法令及び環境保全協定に基づき、神奈川県、鎌倉市に速やかに連絡することになっている。町内会・自治会への緊急連絡が必要な場合には、武田薬品から町内会に連絡できるよう、今年も更新した一覧表を本会后に鎌倉市から受け取る。なお、湘南アイパークでは病原性の強いウイルスは使用しておらず、仮に化学物質やウイルスが流出したとしても避難が必要な事態にはならないと考えている。

## 【入居者の研究内容に関して】

- ⑤ 湘南アイパークでのコロナやワクチンの研究については、バイオセーフティーレベル 3 以上 (主に病原体を扱う研究・実験) のものは行えない。ただし、メッセンジャーRNA 医薬品の製造研究をしている会社が参加しており、新しい医薬品を発信できるチャンスはある。
- ⑥ 動物棟の使用状況は動物棟全体の 4 割程度である。動物を使用したニーズは減っているため、残る 6 割程度は生命科学等 (細胞や遺伝子等) の分野での研究に使用する予定。
- ⑦ 湘南アイパーク内に入居している企業については、資本や業務内容、アイパークへの入居目的や反社会行為の有無などの事前調査は行っている

## 【アイパークの活動全般に関して】

- ⑧ 近隣住民の方とのコミュニケーションについては、コロナ前は秋祭りや桜祭りを開催していたが、新型コロナウイルス感染拡大により見送らせていただいている。時代に合わせた方法を考えていきたい。
- ⑨ このエリアでヘルスイノベーションに関して能力・意欲の高い研究者、企業が集まりつつある。5 者連携においては、このエリアを最先端ヘルスイノベーション拠点にすることで、住民の皆様にとって他のどの地区より先端科学に触れ合う可能性が広がると考える。例えば医療機関への最新モビリティでのアクセス、家庭やまちなかでの最新デバイスの活用、オンライン診療の普及促進など、社会課題の解決に向けた実証研究への参加機会を通じて、ぜひ一緒に未来を創っていければと願っている。
- ⑩ 湘南アイパークでのワクチン接種に関しては、バス会社との事前協議で、接種人数から考えて定期運行バスの増便は必要なしとの判断をしたが、住民の皆様への事前のお知らせはした方がよかった。いつもと違うバスの込み具合となりご迷惑をお掛けしたことをお詫びしたい。

### (3) 決定事項

武田薬品は、

- ✓ 環境保全に関する責任および連絡体制（武田薬品工業、三井住友信託銀行及び三菱商事 UBS リアルティの関係性）が分かる資料および、初めて連絡会に参加する人を想定した分かりやすい資料を作成する（本要望に対応した訂正資料を、8月11日に鎌倉市経由で電子メール、郵便にて町内会・自治会に送付済み）。

鎌倉市は、

- ✓ 連絡会の町内会・自治会の連絡先を確認及び連絡一覧表を更新し、武田薬品工業株式会社へ提供する。  
期限：2021年10月31日まで。

### (4) 備考

当連絡会が始まった経緯について。武田薬品の研究所時代に、鎌倉市民の方から公共下水道への排水について申立があったことがきっかけ。県の仲介のもと、武田薬品と申立人が話し合った結果、地域住民との連絡会を行うことが決められた。